



Q：花粉症ですが、薬を服用する時の注意事項を教えてください（31歳・会社員）

A：最もよく使われる「抗ヒスタミン薬」は、第一世代薬と第二世代薬があります。薬局で購入できる薬はほとんどが第一世代薬で、即効性はありますが、効果持続時間は比較的短く、眠気や全身倦怠（けんたい）感、口が渇くなどの副作用が強いのが問題です。最近はいんぺアード・パフオーマンス」という副作用も問題になっています。これは、自分でも気付かないうちに、集中力や判断力の低下が起るものです。脳内に影響がある抗ヒスタミン薬を服用する

と、脳を活性化させる物質を薬がブロックしてしまうのです。仕事や運転などで不都合が生じる可能性があるので注意が必要です。

それに対し、医師が処方しているのが第二世代薬。副作用が少なく、効果の持続が長いのが特徴です。また、鼻づまり症状に対しては、抗ロイ



コトリエン薬が効果的なことがあります。症状により、効果的な治療薬は変わりますので、医師に相談しましょう。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎0555・2888・1801